

# 静岡県月例経済報告

(平成29年2月号)

……平成28年12月を中心とした県内経済のすがた……

No. 490

—静岡県経済産業部—

## 目 次

I 静岡県経済の概況 .....	1
II 静岡県主要経済指標の概況 .....	4
・ 需要面 .....	4
・ 生産面 .....	13
・ 雇用面 .....	15
・ その他 .....	18
III 静岡県主要産業の動向 .....	22
IV データからみた県内主要産業 .....	25

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

# I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成28年12月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

## 概況

平成28年12月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつあるが、弱さがみられる。

先行きについては、底堅い設備投資意欲などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産の回復状況と海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、持ち直しに向けた動きがうかがわれる。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、下げ止まりの兆しがみられる。
- ・ 生産は、下げ止まりの兆しがみられる。

## 需要面

### ◎個人消費は、持ち直しに向けた動きがうかがわれる。

大型小売店販売額(12月)は、百貨店が5か月連続、スーパーが2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総額でも、2か月ぶりに前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(12月)は、家電大型専門店が2か月連続、ホームセンターが2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストアが6か月連続、ドラッグストアが21か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(12月)は、軽自動車が3か月連続で前年実績を下回ったものの、乗用車が5か月連続で前年実績を上回ったことから、総数でも2か月連続で前年実績を上回った。

### ◎住宅建設は、前年を上回った。

分譲住宅が2か月連続で前年実績を下回ったものの、持家が3か月ぶり、貸家が2か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも3か月ぶりに前年実績を上回った。

### ◎公共投資は、前年を上回った。

公共工事請負金額(12月)は、3か月ぶりに前年実績を上回った。

### ◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成28年12月14日)の28年度設備投資計画は、製造業、非製造業ともに増加する計画となっており、全産業でも増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(12月)は、2か月連続で前年実績を上回った。

## ◎輸出は、下げ止まりの兆しがみられる。

### 輸入は、前年を下回った。

輸出総額（12月）は、エアコンが4か月連続、二輪自動車類が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、原動機、自動車がいずれも2か月連続、自動車の部分品が4か月連続、科学光学機器が6か月ぶりに前年実績を上回った。

また、輸入総額（12月）は、紙類及び同製品と原動機で前年実績を上回ったものの、全体では2か月ぶりに前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、1,119億円の輸出超過となった。

## 生産面

## ◎生産は、下げ止まりの兆しがみられる。

鉱工業生産指数（11月）は、電気機械が2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械、パルプ・紙・紙加工品、食料品・たばこがいずれも3か月連続、輸送機械が21か月連続、化学が2か月連続で前年水準を下回ったことから、総合でも3か月連続で前年を下回った。また、3か月ぶりに前月を上回った。

なお、鉱工業在庫指数（11月）は、総合では3か月連続で前年水準を下回った。

## 雇用面

## ◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率（12月）は1.42倍で、前月を0.01ポイント上回り、35か月連続で1倍を上回った。また、2か月ぶりに全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員（12月）は、41か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（11月）は、前年を下回った。

## その他

## ◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高（12月）は、前年同月比1.3%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（12月）は、前年同月比9.4%減と前年実績を下回った。

## ◎企業倒産は、件数、負債総額いずれも前年を下回った。

企業倒産（1月）は、件数は16件で前年同月比15.7%減、負債総額は前年同月比46.1%減となり、いずれも前年実績を下回った。

<<県の取組>>

【 “全国初” 静岡県が選抜したスギが国の特定母樹に指定されました 】

1 要 旨

森林・林業研究センターが選抜した品質の優れたスギ（天竜21～25号）5本が、都道府県選抜のスギとしては初めて農林水産大臣に特定母樹（※）として指定されました。

2 選抜したスギの概要

特 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在来品種と比べて成長が極めて早く、材積が概ね1.5倍以上となることから、植栽本数や下刈り回数の削減など、造林にかかる初期投資の軽減、伐期の短縮が可能</li> <li>・強度が在来品種より大きく、曲がりも少ない</li> <li>・花粉量は一般的なスギの概ね半分以下で、花粉の飛散量抑制が図られる</li> </ul>	
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定された特定母樹から採取した種子をもとに生産したスギ苗木が販売されることで、下刈り等の育林経費が削減され、省力的な造林が可能</li> <li>・造林にかかる負担が軽減されることで、伐期を迎えた森林の皆伐が促進され、本県の木材生産量が増加し、林業・木材産業が活性化される</li> </ul>	
普 及	平成31年には特定母樹由来の苗木が植栽可能	
選抜経緯	天竜21～23号 選抜地：周智郡森町三倉 平成2年交配 平成5年植栽 平成27年選抜	天竜24, 25号 選抜地：浜松市天竜区神沢 昭和54年交配 昭和57年植栽 平成27年選抜
成果発表	平成29年2月2日（木） 林木育種成果発表会（木材会館7階ホール） 特別報告「静岡県における特定母樹選抜の取組」（山田晋也上席研究員）	

※ 特定母樹の概要

特定母樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に優良な種苗を生産するための種子や穂木の採取に適する樹木であって、成長に係る特性が特に優れたもの</li> <li>・農林水産大臣が指定する（森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法）</li> </ul>
選抜状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国選抜：102本（平成28年3月31日現在）</li> <li>・都道府県選抜：5本（平成29年2月2日現在）</li> </ul>



## II 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

#### 1 個人消費

##### (1) 大型小売店販売額

12月 = 42,002百万円

\*前年同月比： 0.9%減

(県内3百貨店、130スーパー合計)

<概況>

12月の大型小売店販売額は42,002百万円で、前年同月比0.9%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 0.7%減）が5か月連続、スーパー（同 0.9%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総合でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

商品別では、身の回り品（前年同月比 0.1%増）が5か月ぶり、飲食料品（同 0.2%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同 2.6%減）、家庭用品（同 5.0%減）がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は1.9%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売額(百万円)	34,074	33,329	35,711	33,931	31,351	33,979	34,265	42,002
前年同月比(%)	▲1.1	0.0	0.7	▲2.7	▲3.5	▲1.0	2.5	▲0.9
うち百貨店(%)	▲5.1	▲3.4	1.1	▲4.9	▲5.2	▲2.8	▲0.7	▲0.7
スーパー(%)	▲0.1	0.9	0.5	▲2.3	▲3.1	▲0.5	3.4	▲0.9
(参考1)全国前年同月比(%)	▲2.2	▲1.5	0.6	▲3.6	▲3.2	▲1.0	▲0.3	▲1.3
うち百貨店(%)	▲4.8	▲3.6	▲0.2	▲6.0	▲5.0	▲4.0	▲2.7	▲2.0
スーパー(%)	▲0.8	▲0.3	1.1	▲2.6	▲2.3	0.6	1.1	▲0.9
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲1.3	0.3	0.9	▲2.9	▲3.2	▲0.9	1.4	▲1.9

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
衣料品	▲4.9	1.6	0.9	▲6.3	▲5.4	▲2.1	4.9	▲2.6
うち紳士服・洋品	2.7	6.2	4.1	▲2.6	▲4.5	0.5	9.9	1.6
婦人・子供服・洋品	▲7.5	▲0.5	0.7	▲7.4	▲5.3	▲2.5	3.0	▲3.9
身の回り品	▲5.7	▲2.3	1.3	▲4.9	▲10.9	▲6.8	▲0.9	0.1
飲食料品	▲0.3	▲0.1	0.6	▲1.2	▲2.3	0.1	2.8	0.2
家庭用品	▲3.8	▲4.6	▲2.4	▲6.7	▲6.0	▲6.8	2.8	▲5.0
うち家庭用電気機械器具	2.1	7.1	▲2.4	▲13.1	▲4.7	9.6	4.5	▲7.4

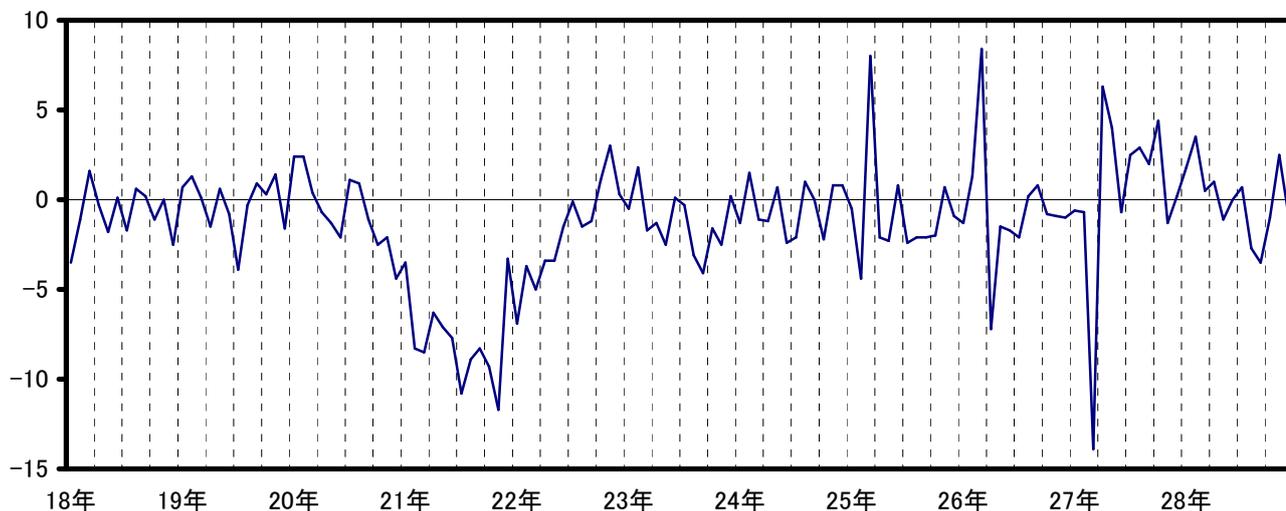
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



## (2) 百貨店販売額

12月 = 8,966百万円

\*前年同月比： 0.7%減

(県内3百貨店販売額)

### <概況>

12月の県内3百貨店の販売額は8,966百万円で、前年同月比 0.7%減となり、5か月連続で前年実績を下回った。

品目別にみると、身の回り品（前年同月比 5.9%増）、家庭用品（同 0.8%増）がいずれも2か月連続、雑貨（同 1.6%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、衣料品（同 3.8%減）が14か月連続、食料品（同 0.3%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売額（百万円）	5,788	5,860	7,052	5,008	5,074	6,194	6,522	8,966
前年同月比（%）	▲ 5.1	▲ 3.4	1.1	▲ 5.8	▲ 5.3	▲ 2.7	▲ 0.6	▲ 0.7
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 5.1	▲ 3.5	▲ 0.1	▲ 6.0	▲ 5.0	▲ 3.9	▲ 2.4	▲ 1.7

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

### <品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

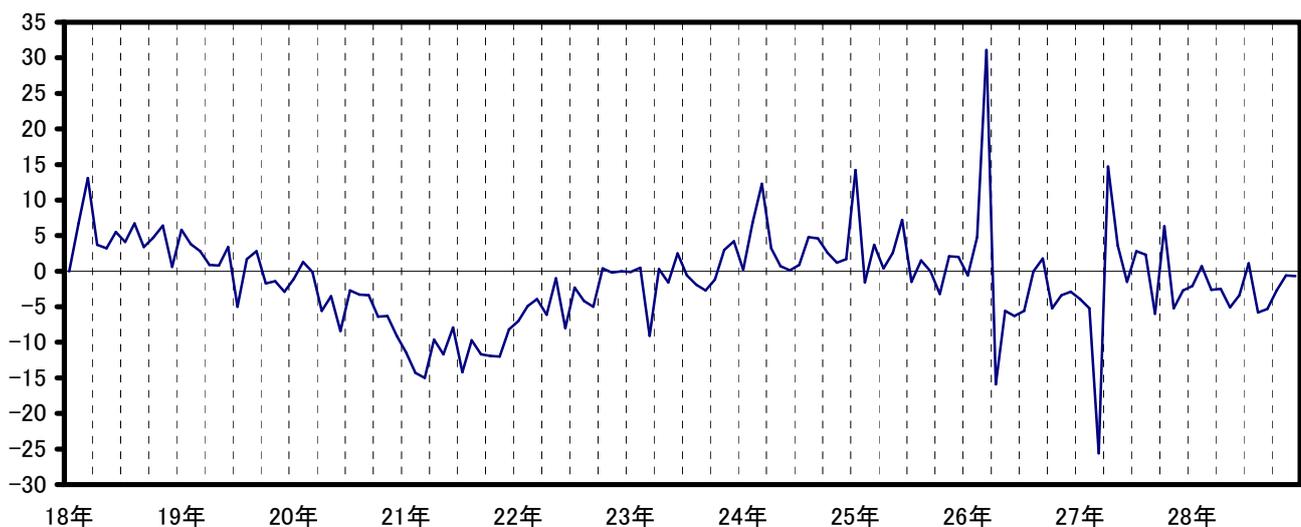
	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
衣料品	▲ 12.2	▲ 5.3	▲ 1.6	▲ 12.5	▲ 8.4	▲ 5.2	▲ 2.2	▲ 3.8
うち紳士服・洋品	▲ 8.2	▲ 10.3	▲ 5.7	▲ 23.0	▲ 9.7	▲ 6.3	▲ 4.0	▲ 5.5
婦人服・洋品	▲ 12.9	▲ 2.6	0.3	▲ 10.2	▲ 7.8	▲ 4.3	▲ 1.5	▲ 3.3
子供服・洋品	▲ 11.2	▲ 17.3	▲ 8.2	▲ 15.4	▲ 18.3	▲ 7.1	▲ 4.2	▲ 4.7
身の回り品	▲ 4.9	▲ 1.0	5.4	▲ 4.2	▲ 4.6	▲ 1.8	4.3	5.9
家庭用品	▲ 3.1	▲ 15.6	9.3	▲ 1.9	▲ 2.1	▲ 17.1	2.6	0.8
食料品	▲ 4.2	▲ 3.2	▲ 2.1	2.5	▲ 4.9	▲ 1.6	0.5	▲ 0.3
雑貨	11.4	5.2	8.4	▲ 4.5	0.3	8.4	▲ 0.7	1.6
うち美術・宝飾・貴金属	2.6	▲ 7.1	▲ 11.0	▲ 21.4	▲ 16.0	4.9	▲ 6.9	▲ 18.0

(注)店舗数調整済

### <過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比（%）

<資料>県百貨店協会



(3) 専門量販店等販売額

12月 = 73,732百万円

\*前年同月比： 2.0%増

(県内91家電大型専門店、1,759コンビニエンスストア、448ドラッグストア、101ホームセンター合計)

<概況>

12月の専門量販店等販売額は73,732百万円で、前年同月比2.0%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 1.9%減）が2か月連続、ホームセンター（同 3.8%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストア（同 3.8%増）が6か月連続、ドラッグストア（同 4.6%増）が21か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売額(百万円)	36,059	35,269	72,320	69,029	61,540	64,309	62,796	73,732
前年同月比(%)	0.2	3.4	4.1	▲0.4	2.2	2.7	2.4	2.0
うち 家電大型専門店(%)	▲1.3	7.1	0.1	▲11.7	2.5	4.3	▲0.7	▲1.9
コンビニエンスストア(%)	—	—	3.8	1.3	3.2	3.7	3.2	3.8
ドラッグストア(%)	2.8	3.9	5.6	3.5	3.1	2.0	2.6	4.6
ホームセンター(%)	▲3.7	▲1.0	6.7	▲2.5	▲3.8	▲0.2	1.7	▲3.8
(参考)全国前年同月比(%)	0.5	3.1	3.8	0.0	2.3	3.3	2.4	2.0

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

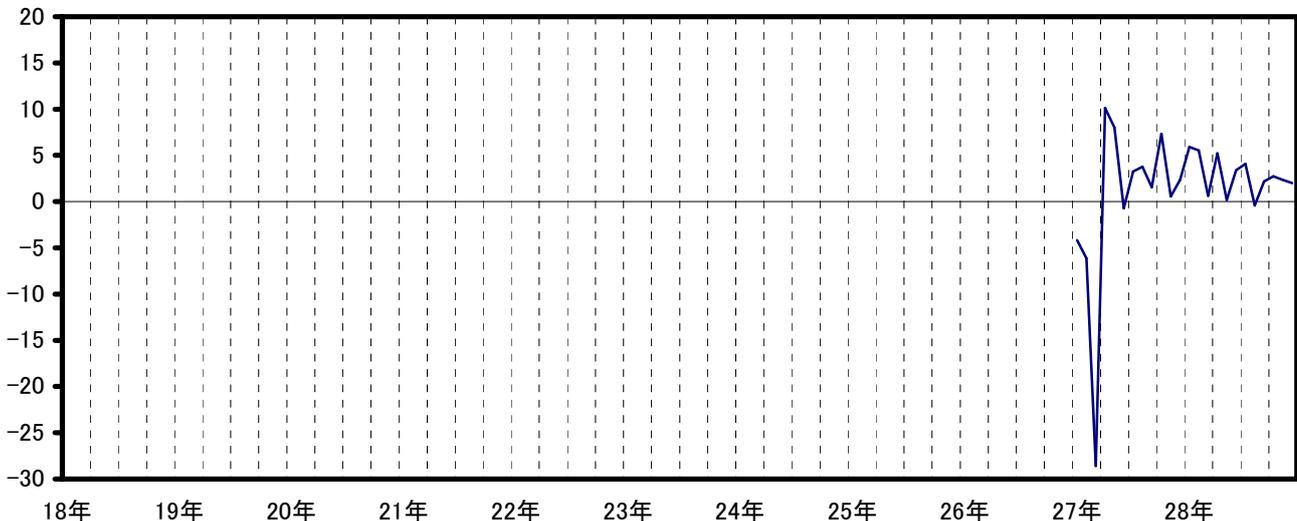
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



#### (4) 自動車(新車)新規登録台数

12月 = 13,544台

\*前年同月比： 2.7%増

(乗用車、軽自動車合計)

##### <概況>

12月の自動車(新車)新規登録台数は13,544台(前年同月比 2.7%増)となり、2か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、軽自動車(同 4.8%減)が3か月連続で前年実績を下回ったものの、乗用車(同 8.7%増)が5か月連続で前年実績を上回った。

##### <最近の動き>

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
登録台数(台)	11,198	14,201	13,630	11,137	16,342	12,513	13,638	13,544
前年同月比(%)	▲ 2.0	▲ 3.5	▲ 4.1	2.3	2.8	▲ 2.8	4.6	2.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 1.4	▲ 5.6	▲ 2.2	2.9	▲ 0.7	▲ 0.1	8.8	8.1

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

##### <車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

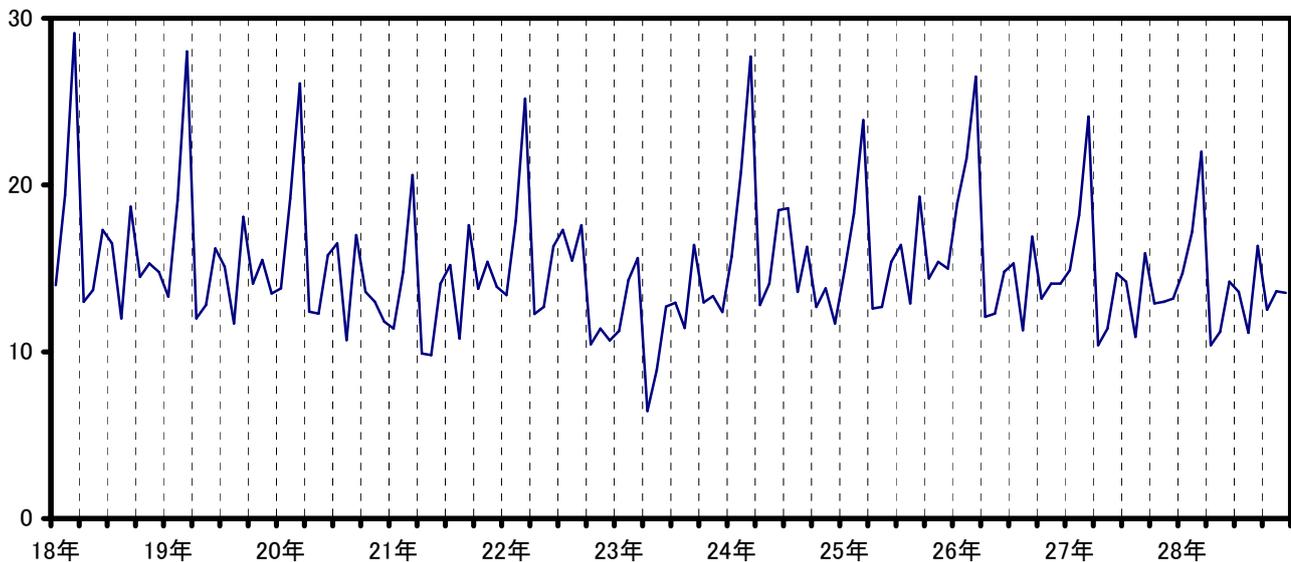
	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全乗用車	▲ 2.0	▲ 3.5	▲ 4.1	2.3	2.8	▲ 2.8	4.6	2.7
乗用車	6.6	5.5	▲ 1.1	3.3	3.8	0.2	11.7	8.7
軽自動車	▲ 12.2	▲ 14.3	▲ 8.0	1.0	1.7	▲ 6.6	▲ 3.8	▲ 4.8

<資料>県税務課

##### <過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

## 2 新設住宅着工戸数

12月 = 2,073戸

\*前年同月比：10.1%増

### <概況>

12月の新設住宅着工戸数は2,073戸で、前年同月比10.1%増となり、3か月ぶりに前年実績を上回った。

利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比1.3%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、持家（同7.3%増）が3か月ぶり、貸家（同28.0%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

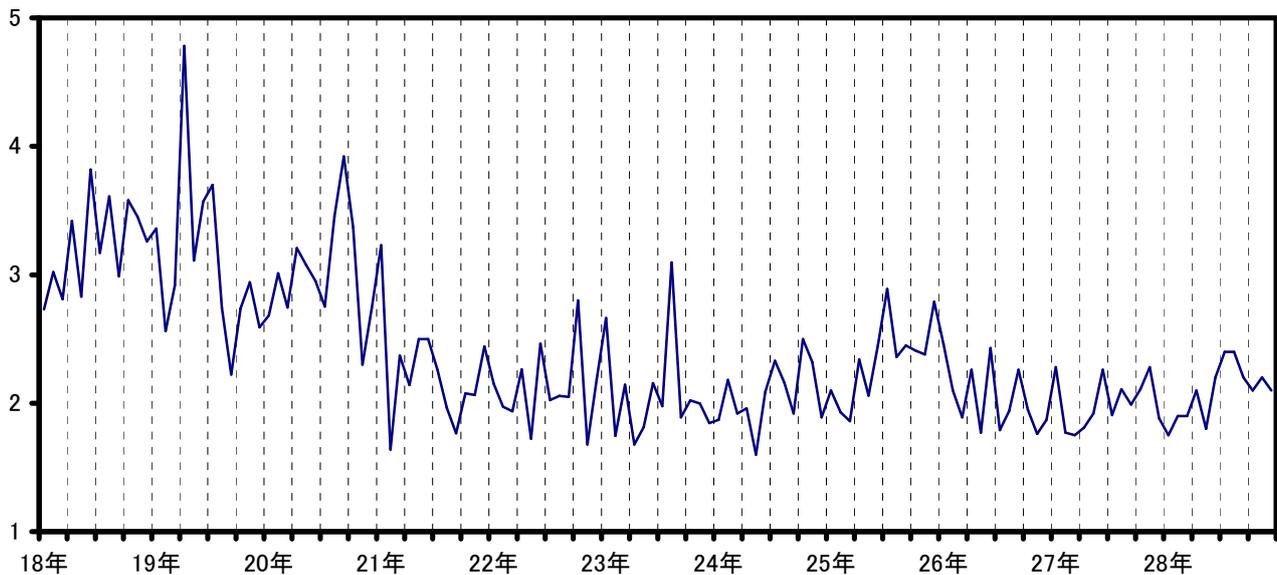
	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
戸数（戸）	1,817	2,195	2,356	2,405	2,179	2,084	2,213	2,073
前年同月比（%）	▲5.1	▲2.7	23.5	14.3	9.7	▲1.4	▲2.9	10.1
うち持家（%）	▲0.3	▲12.5	13.9	7.4	6.0	▲3.9	▲14.5	7.3
貸家（%）	21.7	▲6.5	28.3	10.9	63.3	▲14.4	19.4	28.0
分譲住宅（%）	▲44.0	24.4	53.0	50.4	▲43.9	48.3	▲3.6	▲1.3
（参考）全国前年同月比（%）	9.8	▲2.5	8.9	2.5	10.0	13.7	6.7	3.9

<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



### 3 公共工事請負金額

12月 = 16,623百万円

\*前年同月比： 8.2%増

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

12月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は16,623百万円で、前年同月比8.2%増となり、3か月ぶりに前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は772件で、前年同月比4.1%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
金額(百万円)	19,103	22,745	28,013	29,515	50,377	19,292	14,204	16,623
前年同月比(%)	▲19.8	▲5.4	▲7.1	14.8	47.9	▲40.0	▲10.0	8.2
年度累計前年同月比(%)	10.3	6.0	2.6	4.8	13.1	4.9	3.9	4.2
件数(件)	393	631	818	885	1,445	657	657	772
前年同月比(%)	8.3	5.9	▲5.1	11.7	27.4	▲30.1	▲11.7	▲4.1
年度累計前年同月比(%)	5.7	5.8	1.7	4.3	10.5	3.1	1.2	0.6

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位:%)

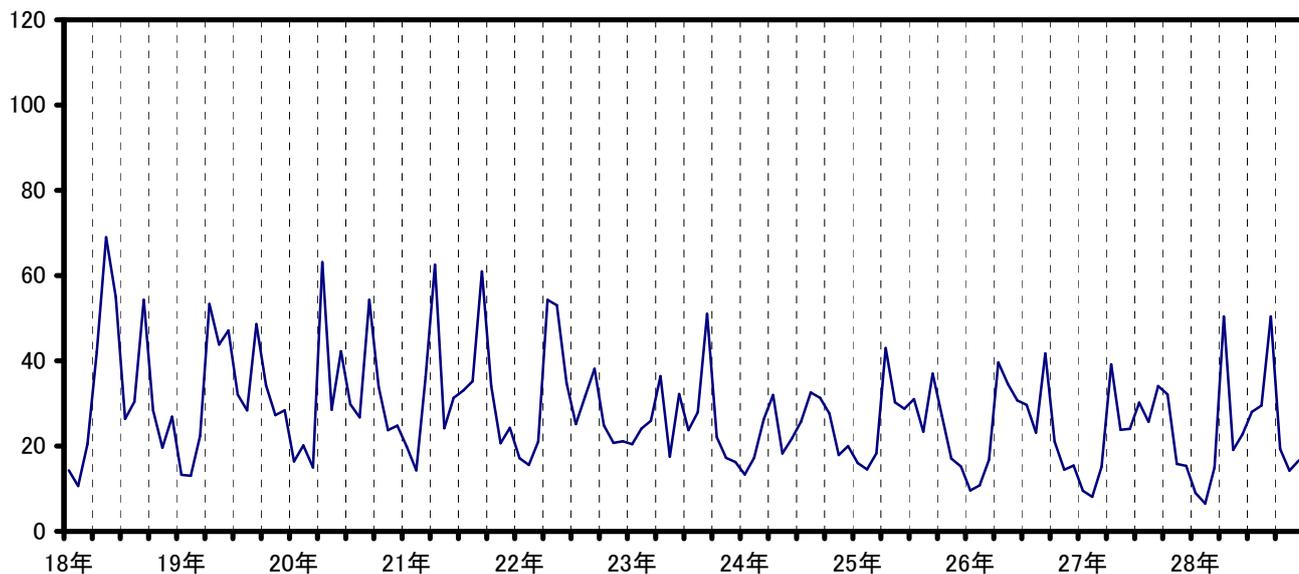
	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
国	4.4	▲64.0	▲47.0	121.1	162.8	▲55.6	▲35.0	54.0
独立行政法人等	▲17.8	40.3	210.7	▲98.3	578.0	▲37.1	291.0	649.2
県	▲27.1	▲3.0	▲30.4	44.7	20.0	1.9	5.5	▲24.0
市町	▲32.5	10.0	10.8	0.0	41.9	▲42.0	▲20.6	12.7
地方公社	9,445.5	—	—	▲41.9	▲43.5	292.5	▲62.4	8.7
その他	▲20.0	0.8	▲16.6	11.3	▲63.5	▲93.3	▲10.3	▲0.3

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



## 4 設備投資

### <概況>

平成27年度の設備投資（実績）は、製造業（前年度比 17.1%増）、非製造業（同 1.8%増）ともに増加したことから、全産業（同 9.6%増）でも増加となった。

平成28年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 8.4%増）、非製造業（同 0.7%増）ともに増加、全産業（同 4.9%増）でも増加する計画となっている。

12月の着工建築物床面積（非居住用）は107,916㎡で、前年同月比 24.3%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

### <企業短期経済観測調査結果>

（前年度比% （ ）内は前回調査比修正率）

		27年度 (実績)	28年度 (計画)		28年度 (計画)	28年度 (計画)	
			上期 (実績)	下期 (実績)		上期 (実績)	下期 (計画)
全産業	県	9.6	13.4	6.5	(▲1.8) 4.9	(▲2.1) 1.9	(▲1.5) 7.4
	全国	5.0	4.2	5.6	(0.2) 1.8	(▲5.4) 2.5	(4.9) 1.3
製造業	県	17.1	22.7	13.2	(▲4.7) 8.4	(▲7.8) ▲0.5	(▲2.7) 15.0
	全国	9.1	7.1	10.7	(▲0.5) 5.6	(▲8.1) 4.6	(6.0) 6.3
非製造業	県	1.8	5.3	▲1.3	(2.3) 0.7	(4.1) 4.3	(0.4) ▲2.9
	全国	2.9	2.7	3.1	(0.6) ▲0.1	(▲3.8) 1.5	(4.3) ▲1.3

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成28年12月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成28年12月調査)」

### <最近の動き>

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	67,384	99,402	108,356	186,104	171,169	77,988	142,379	107,916
前年同月比（%）	▲ 32.6	▲ 25.2	10.6	105.9	35.1	▲ 45.6	29.2	24.3
(参考) 全国前年同月比（%）	19.0	4.2	▲ 19.1	16.7	10.8	▲ 3.7	10.4	5.4

(注) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

	28年9月	28年12月	29年3月 (予測)
全産業	1	8	0
製造業	0	7	4
非製造業	3	10	▲4
(参考) 全国・全産業	5	7	2

(注) 業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成28年12月調査)」

## 5 輸出

12月 = 188,985百万円

\*前年同月比： 5.3%増

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

12月の清水税関支署管内の輸出総額は188,985百万円で、前年同月比 5.3%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 12.1%減）が4か月連続、二輪自動車類（同 0.8%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、原動機（同 6.1%増）、自動車（同 65.0%増）がいずれも2か月連続、自動車の部分品（同 10.2%増）が4か月連続、科学光学機器（同 6.7%増）が6か月ぶりに前年実績を上回った。

地域別にみると、アジア向け（前年同月比 10.2%増）が2か月連続、米国向け（同 13.3%増）が9か月ぶりに前年実績を上回った。EU向けは前年実績と同水準となった。

### <最近の動き>

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸出総額(百万円)	139,497	156,025	160,716	145,084	164,289	157,569	163,347	188,985
前年同月比(%)	▲4.8	▲7.7	▲11.7	▲8.9	▲3.0	▲8.6	5.9	5.3

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
原動機	▲1.5	▲1.6	▲1.2	2.7	▲5.5	▲11.6	11.8	6.1
エアコン	▲4.1	▲6.7	20.5	28.9	▲11.9	▲11.1	▲3.4	▲12.1
自動車	▲34.3	▲1.2	▲38.7	▲41.0	87.9	▲17.1	26.8	65.0
自動車の部分品	▲2.9	▲9.3	▲8.7	▲2.8	11.2	1.3	15.4	10.2
二輪自動車類	14.2	▲11.1	▲9.2	▲27.0	▲29.3	▲3.3	16.5	▲0.8
科学光学機器	▲8.0	10.0	▲24.6	▲12.2	▲10.4	▲14.6	▲5.6	6.7

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アジア	▲4.6	▲2.1	▲13.7	1.0	4.7	▲5.6	11.2	10.2
米国	▲14.7	▲7.1	▲5.4	▲14.7	▲7.0	▲6.4	▲7.3	13.3
EU	27.4	▲7.6	4.0	1.7	0.3	0.1	32.2	0.0

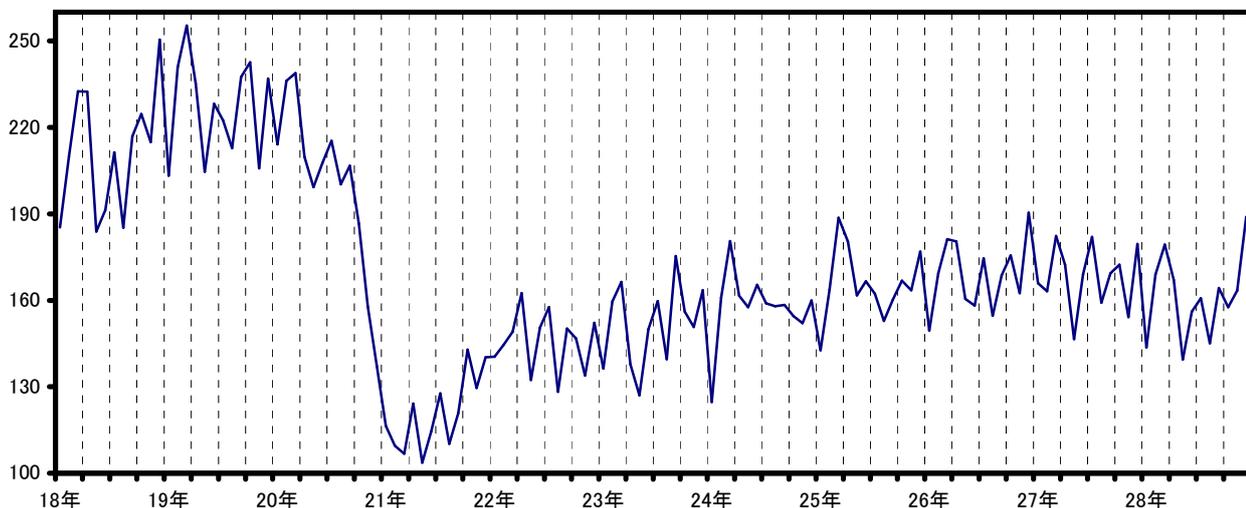
<資料>清水税関支署

(注)管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



## 6 輸入

12月 = 77,135百万円

\*前年同月比： 1.5%減

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

12月の清水税関支署管内の輸入総額は77,135百万円で、前年同月比 1.5%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、紙類及び同製品（前年同月比 23.2%増）、原動機（同 76.1%増）がいずれも2か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類（同 5.6%減）、自動車の部分品（同 7.9%減）がいずれも2か月ぶり、木材（同 16.0%減）、パルプ（同 6.7%減）がいずれも12か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（前年同月比 4.4%増）が4か月ぶり、米国から（同 17.5%増）が10か月ぶりに前年実績を上回ったものの、EUから（同 10.4%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸入総額(百万円)	78,990	70,881	67,656	75,303	73,505	70,550	81,962	77,135
前年同月比(%)	▲ 0.7	▲ 13.3	▲ 21.5	▲ 4.5	▲ 9.8	▲ 17.0	0.4	▲ 1.5

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
魚介類	13.5	▲ 13.8	▲ 0.2	▲ 6.5	▲ 14.4	▲ 8.9	19.7	▲ 5.6
木材	▲ 10.7	▲ 15.0	▲ 19.8	▲ 8.3	▲ 7.5	▲ 13.1	▲ 30.0	▲ 16.0
パルプ	▲ 9.0	▲ 27.5	▲ 45.8	▲ 23.9	▲ 13.3	▲ 27.8	▲ 46.8	▲ 6.7
紙類及び同製品	▲ 1.2	24.8	▲ 3.9	1.1	30.2	▲ 6.7	2.6	23.2
原動機	39.9	53.7	45.7	169.5	13.1	▲ 6.4	15.8	76.1
自動車の部分品	▲ 37.7	▲ 26.3	▲ 42.5	▲ 0.3	▲ 1.7	▲ 28.5	13.5	▲ 7.9

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

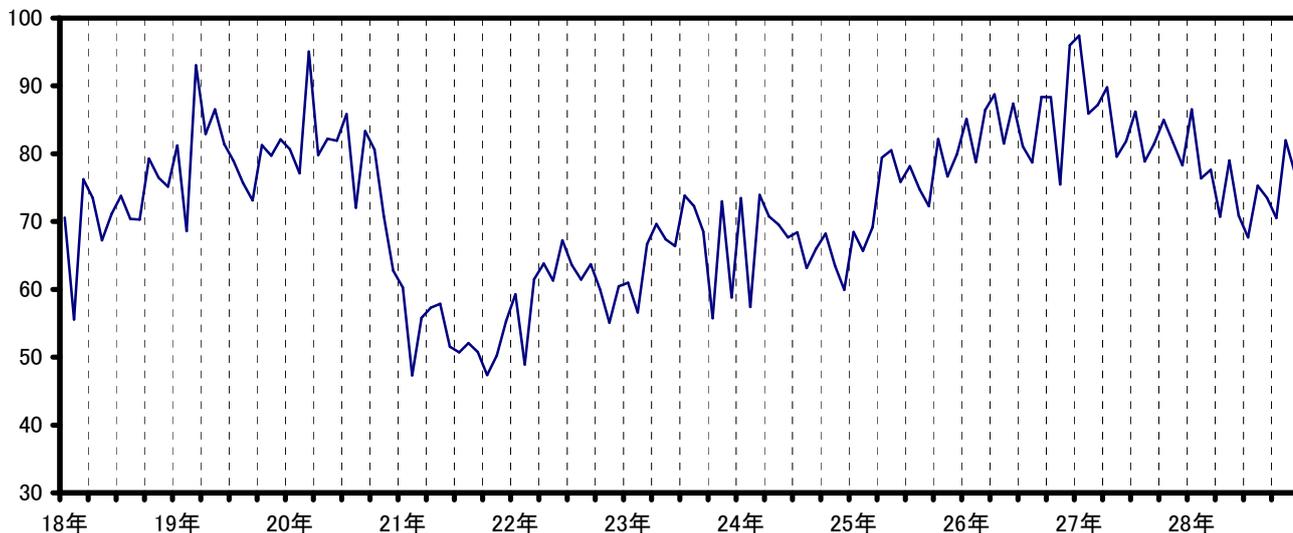
	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アジア	1.2	▲ 10.5	▲ 16.8	0.2	▲ 8.7	▲ 19.6	▲ 5.9	4.4
米国	▲ 14.9	▲ 10.0	▲ 25.9	▲ 9.4	▲ 22.6	▲ 16.6	▲ 28.2	17.5
EU	▲ 19.6	▲ 23.1	▲ 7.8	▲ 4.4	▲ 31.7	▲ 1.7	6.1	▲ 10.4

<資料>清水税関支署

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



# 生産面

## 1 生産

### (1) 鉱工業生産指数

11月 = 89.3

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 2.8%増

\*前年同月比(原指数) : 0.9%減

#### <概況>

11月の鉱工業生産指数(総合)は89.3(季節調整済指数)で、前月比2.8%増となり、3か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は0.9%減と3か月連続で前年を下回った。

業種別にみると、電気機械(前年同月比3.2%増)が2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同5.9%減)、パルプ・紙・紙加工品(同3.7%減)、食料品・たばこ(同3.8%減)がいずれも3か月連続、輸送機械(同0.3%減)が21か月連続、化学(同4.6%減)が2か月連続で前年水準を下回った。

#### <最近の動き>

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	93.0	86.8	88.8	88.3	90.0	89.7	86.9	89.3
前月比(%)	4.1	▲6.7	2.3	▲0.6	1.9	▲0.3	▲3.1	2.8
前年同月比(%)	▲1.6	▲0.4	▲4.1	▲5.4	4.5	▲1.2	▲5.8	▲0.9
(参考)全国前年同月比(%)	▲3.5	▲0.1	▲1.9	▲3.8	4.6	0.9	▲1.3	4.6

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

#### <県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲0.5	▲3.4	3.1	▲4.6	11.5	▲4.1	▲12.5	▲5.9
電気機械工業	2.8	7.5	7.1	2.5	15.9	2.2	▲9.6	3.2
輸送機械工業	▲11.7	▲8.9	▲15.1	▲11.9	▲4.0	▲7.3	▲9.5	▲0.3
化学工業	16.7	17.3	5.8	▲4.8	8.7	6.4	▲1.8	▲4.6
パルプ・紙・紙加工品工業	▲2.1	▲0.4	▲4.3	▲3.2	6.7	▲3.0	▲1.0	▲3.7
食料品・たばこ工業	▲3.6	▲3.9	▲10.6	▲4.9	1.3	▲1.2	▲5.2	▲3.8

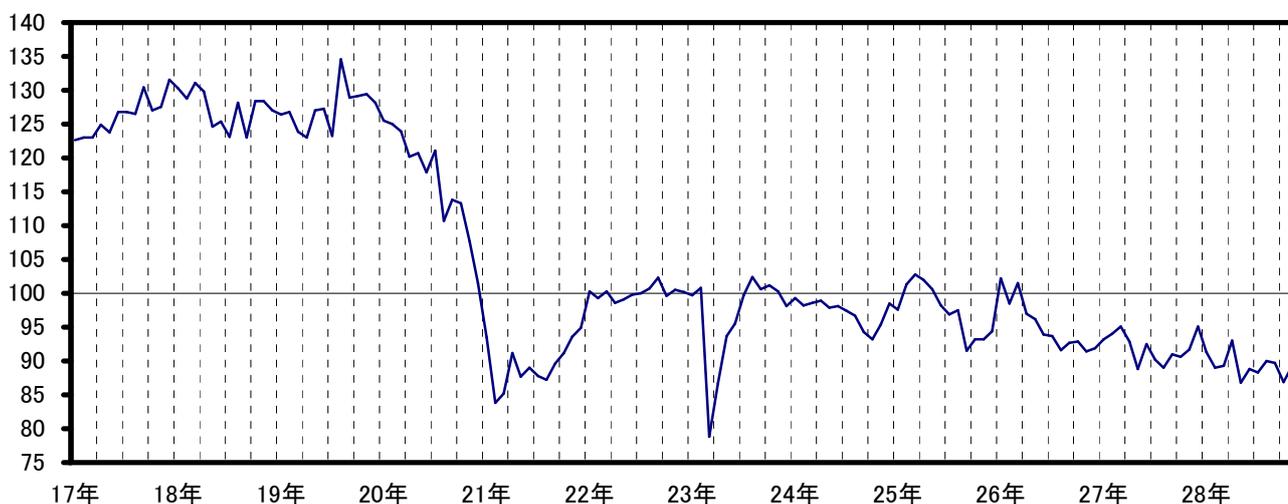
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



## (2) 鋳工業在庫指数

11月 = 112.8

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 1.7%減

\*前年同月比(原指数) : 7.3%減

### <概況>

11月の鋳工業在庫指数(総合)は112.8(季節調整済指数)で、前月比は1.7%減と4か月連続して低下した。また、前年同月比(原指数)は7.3%減と3か月連続で前年を下回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比13.0%増)が8か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同0.5%増)が2か月連続で前年水準を上回ったものの、電気機械(同20.8%減)、化学(同4.2%減)がいずれも3か月連続、輸送機械(同46.9%減)が8か月連続、食料品・たばこ(同7.2%減)が2か月連続で前年水準を下回った。

### <最近の動き>

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	121.9	118.2	116.4	119.5	119.3	115.7	114.7	112.8
前月比(%)	▲3.2	▲3.0	▲1.5	2.7	▲0.2	▲3.0	▲0.9	▲1.7
前年同月比(%)	9.1	6.0	0.0	4.1	2.1	▲2.0	▲4.8	▲7.3
(参考)全国前年同月比(%)	0.1	0.6	0.0	▲1.8	▲1.8	▲2.0	▲3.0	▲4.8

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

### <県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
はん用・生産用・業務用機械工業	2.6	2.4	0.4	6.0	0.8	6.6	7.1	13.0
電気機械工業	16.7	14.6	25.5	26.9	21.3	▲8.5	▲16.5	▲20.8
輸送機械工業	▲0.4	▲10.1	▲24.9	▲11.8	▲19.6	▲34.2	▲42.2	▲46.9
化学工業	13.6	4.2	1.3	3.5	0.1	▲1.6	▲3.5	▲4.2
パルプ・紙・紙加工品工業	1.9	1.8	▲4.2	▲3.1	1.5	0.0	7.2	0.5
食料品・たばこ工業	▲14.1	▲9.5	▲12.0	▲2.8	▲9.0	0.4	▲3.5	▲7.2

(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

### <過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

**12月 = 1.42倍**

\*前月比（季節調整値）：0.01ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

#### <概 況>

12月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.42倍となり、前月を0.01ポイント上回った。また、2か月ぶりに全国値を下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比9.0%増）は11か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、卸売業・小売業（前年同月比5.0%減）が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、建設業（同5.6%増）が11か月連続、製造業（同16.5%増）が14か月連続、情報通信業（同2.2%増）が14か月ぶり、運輸業・郵便業（同1.0%増）が2か月連続、医療・福祉（同7.2%増）が4か月連続、サービス業（他に分類されないもの）（同21.6%増）が10か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

（単位：倍）

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
県	1.35	1.34	1.36	1.34	1.36	1.39	1.41	1.42
全 国	1.36	1.37	1.37	1.37	1.38	1.40	1.41	1.43

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建 設 業	6.3	5.1	3.4	6.0	8.7	1.9	14.3	5.6
製 造 業	8.9	6.6	2.8	16.7	27.5	20.9	15.7	16.5
情 報 通 信 業	▲40.3	▲14.8	▲12.5	▲52.6	▲28.7	▲39.2	▲13.2	2.2
運 輸 業 ・ 郵 便 業	12.6	▲5.9	7.6	3.9	2.4	▲3.7	18.8	1.0
卸 売 業 ・ 小 売 業	64.3	6.6	11.5	57.1	▲10.9	19.0	2.6	▲5.0
医 療 ・ 福 祉	▲3.8	▲0.5	7.2	▲3.9	1.6	13.5	10.2	7.2
サービス業（他に分類されないもの）	15.8	13.0	3.0	29.9	2.2	12.9	62.7	21.6
合 計	9.1	2.4	3.7	11.0	4.2	7.9	16.4	9.0

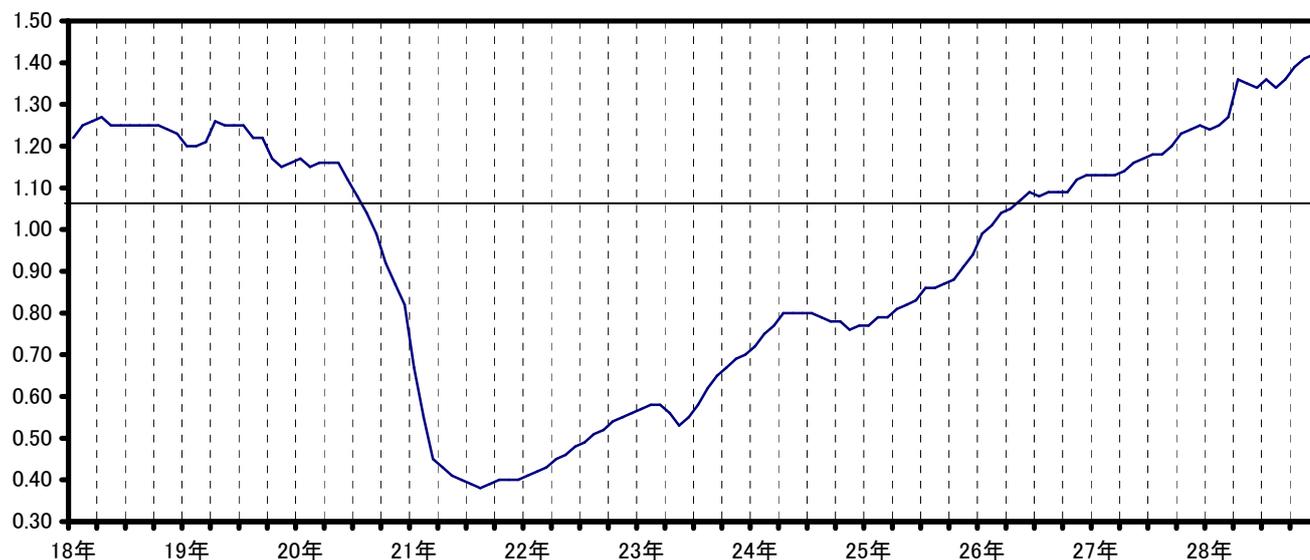
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

12月 = 10,924人

\*前月比: 5.8%減

\*前年同月比: 11.3%減

<概況>

12月の雇用保険受給者実人員は10,924人で、前月比は5.8%減と4か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は11.3%減と41か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は3.1%で、前月と同水準となった。

静岡県(平成28年7~9月)の完全失業率は2.4%で、前期(28年4~6月)から0.2ポイント改善した。

<最近の動き>

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実人員(人)	11,955	12,519	12,580	13,302	12,696	12,170	11,593	10,924
前月比(%)	7.6	4.7	0.5	5.7	▲4.6	▲4.1	▲4.7	▲5.8
前年同月比(%)	▲13.2	▲14.0	▲15.9	▲10.2	▲12.7	▲11.5	▲10.8	▲11.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲5.5	▲7.5	▲10.5	▲3.7	▲8.0	▲9.3	▲7.9	▲9.3

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
完全失業率(全国)(%)	3.2	3.1	3.0	3.1	3.0	3.0	3.1	3.1

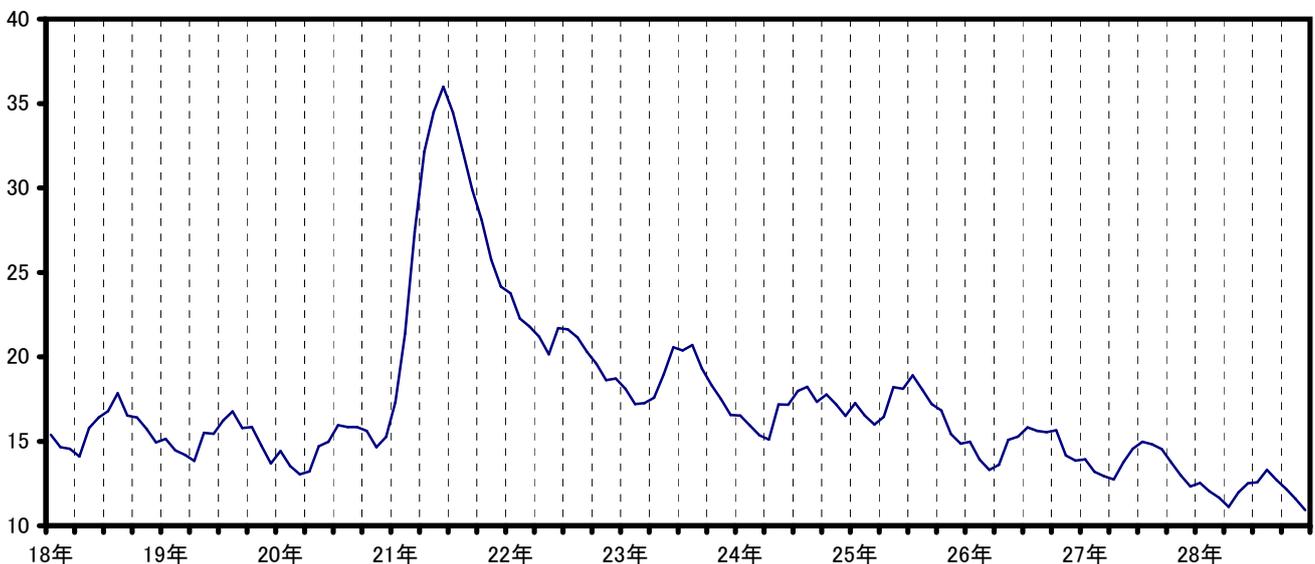
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



### (3) 所定外労働時間指数

11月 = 111.4

\*前月比(季節調整済指数): 1.9%減

(平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \*前年同月比(原指数) : 1.4%減

#### <概況>

11月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は111.4(季節調整済指数)で、前月比1.9%減となった。また、前年同月比(原指数)は1.4%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

業種別にみると、その他のサービス業(前年同月比11.8%増)が2か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同5.1%減)が3か月ぶり、製造業(同5.9%減)、運輸業・郵便業(同6.9%減)、医療・福祉(同23.5%減)がいずれも2か月連続、情報通信業(同8.4%減)が3か月連続、卸売業・小売業(同34.2%減)が5か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	112.5	115.5	114.8	112.8	105.9	111.6	113.6	111.4
前月比(%)	5.0	2.7	▲0.6	▲1.7	▲6.1	5.4	1.8	▲1.9
前年同月比(%)	5.5	9.9	7.2	5.9	▲0.8	1.4	0.7	▲1.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.7	▲2.4	▲0.8	▲1.6	▲2.5	▲1.6	▲1.5	▲1.5

\*平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
建設業	▲37.5	▲13.5	▲0.6	13.7	▲9.7	0.0	15.4	▲5.1
製造業	3.8	1.8	▲2.2	2.2	▲1.1	0.0	▲4.5	▲5.9
情報通信業	5.4	4.9	1.1	▲9.1	1.3	▲13.6	▲10.9	▲8.4
運輸業・郵便業	1.3	2.1	▲4.3	2.9	▲2.1	3.2	▲5.3	▲6.9
卸売業・小売業	0.0	15.5	0.0	▲26.8	▲17.6	▲29.6	▲31.1	▲34.2
医療・福祉	14.9	9.9	20.3	4.3	▲4.4	9.1	▲7.2	▲23.5
その他のサービス業	▲7.7	6.8	8.6	3.2	13.2	▲7.2	5.3	11.8
調査産業計	5.5	9.9	7.2	5.9	▲0.8	1.4	0.7	▲1.4

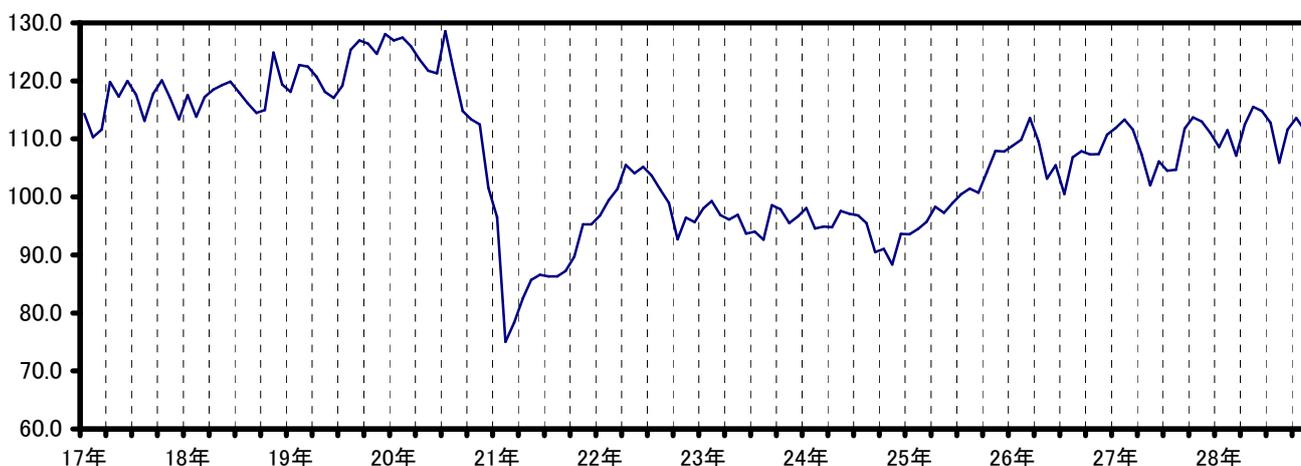
\*平成22年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



## そ の 他

### 1 物 価

#### 国内企業物価指数

1 月 = 97.7

(平成27年=100)

\*前 月 比: 0.6%上昇

\*前年同月比: 0.5%上昇

#### <概 況>

1月の国内企業物価指数は97.7となり、前月比は0.6%の上昇となった。また、前年同月比は0.5%の上昇となった。

#### <最近の動き>

	28年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
国内企業物価指数	96.4	96.3	96.0	96.1	96.0	96.4	97.1	97.7
前 月 比 (%)	0.0	▲ 0.1	▲ 0.3	0.1	▲ 0.1	0.4	0.7	0.6
前年同月比 (%)	▲ 4.5	▲ 4.2	▲ 3.8	▲ 3.3	▲ 2.7	▲ 2.3	▲ 1.2	0.5

\*平成27年=100

<資料>日本銀行

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

12月 = 139,099億円

(銀行、信用金庫)

\*前 月 比: 1.3%増

\*前年同月比: 1.3%増

#### <概 況>

12月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は139,099億円で、前月比は1.3%の増加となり、前年同月比は1.3%の増加となった。

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
貸出残高(億円)	135,574	136,065	136,020	135,981	137,793	136,468	137,258	139,099
前 月 比 (%)	▲ 0.2	0.4	0.0	0.0	1.3	▲ 1.0	0.6	1.3
前年同月比 (%)	2.2	2.5	2.7	2.7	2.2	2.1	2.4	1.3

<資料>日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

12月 = 2.124%

(県内地銀4行総平均)

\*前 月 差: 0.022ポイント減

\*前年同月差: 0.026ポイント減

#### <概 況>

12月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.124%で、前月から0.022ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.026ポイントのマイナスとなった。

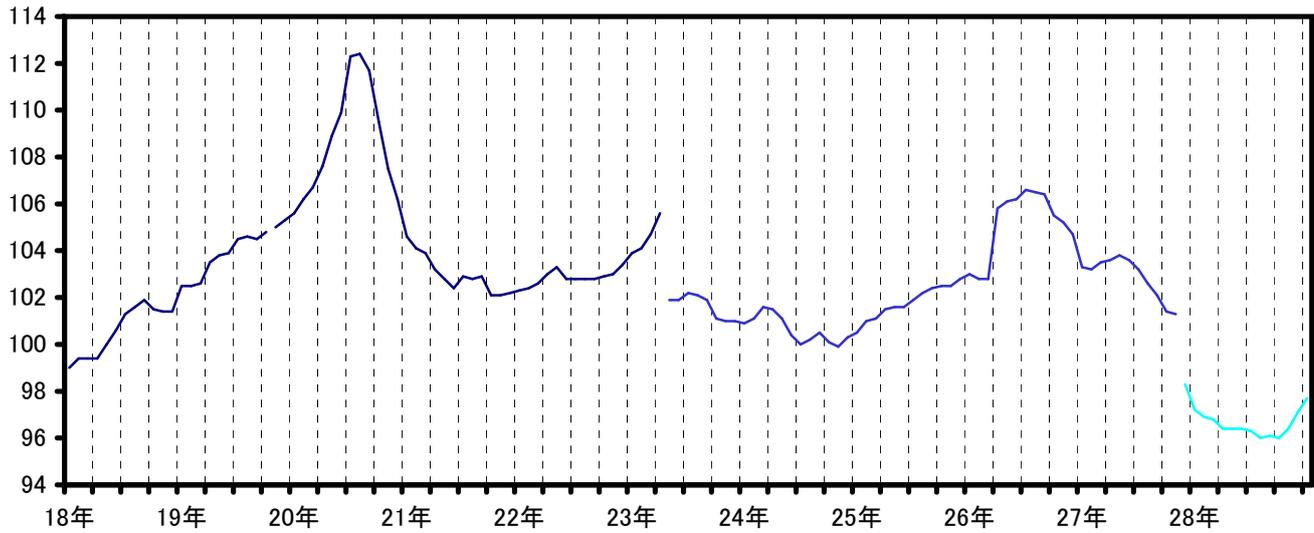
	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
貸出約定金利(%)	2.152	2.153	2.155	2.154	2.144	2.152	2.146	2.124
前月差(ポイント)	▲ 0.004	0.001	0.002	▲ 0.001	▲ 0.010	0.008	▲ 0.006	▲ 0.022
前年同月差(ポイント)	0.015	0.000	▲ 0.004	▲ 0.008	▲ 0.004	▲ 0.014	▲ 0.022	▲ 0.026

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

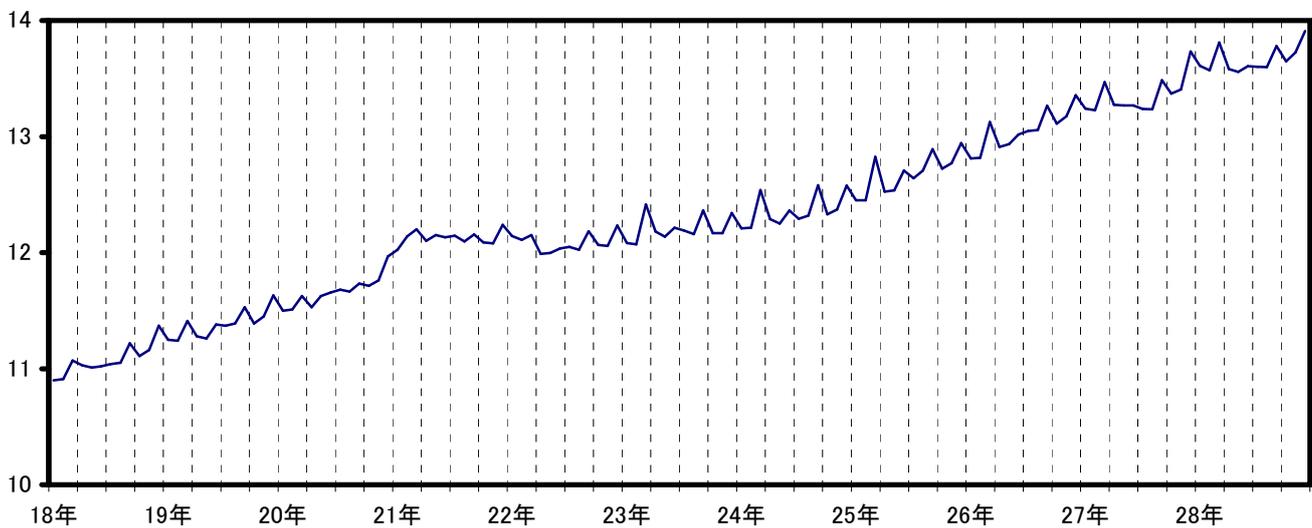
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



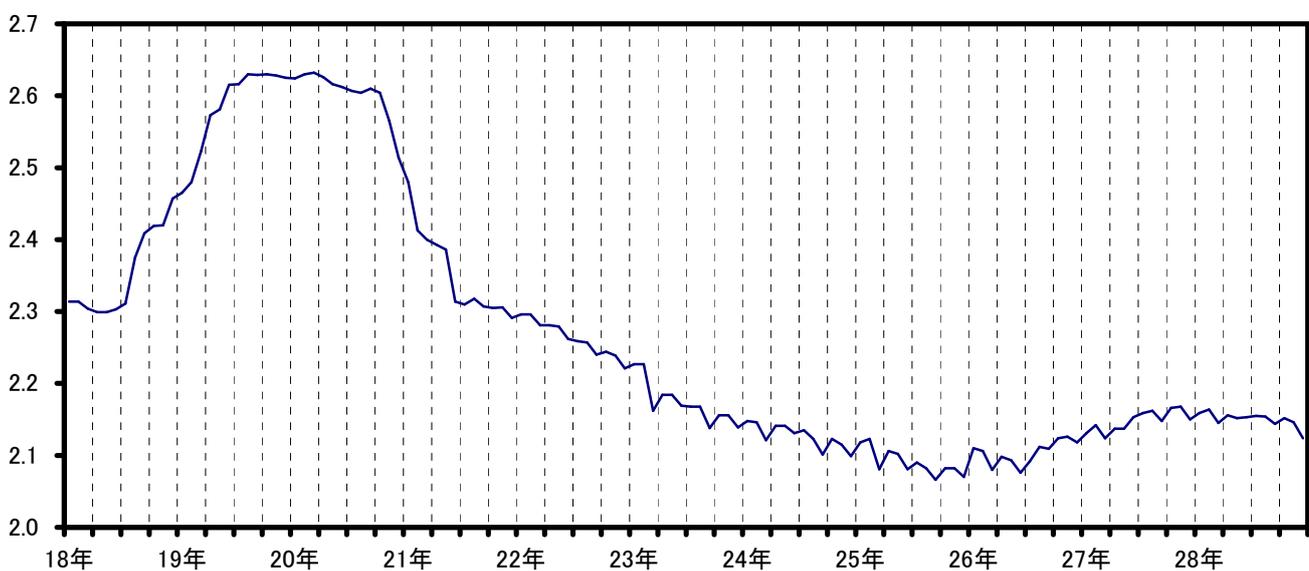
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



**(3) 信用保証協会保証金額****12月 = 24,335百万円**

\*前年同月比： 9.4%減

## &lt;概況&gt;

12月の保証承諾は、金額が24,335百万円（前年同月比 9.4%減）と前年実績を下回り、件数は2,363件（同 10.7%減）と21か月連続で前年実績を下回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
保証金額（百万円）	17,302	23,147	20,714	22,578	23,295	17,045	19,296	24,335
前年同月比（%）	0.0	▲ 3.5	▲ 5.9	10.9	▲ 10.1	▲ 14.2	0.0	▲ 9.4
保証件数（件）	1,835	2,324	2,009	2,172	2,319	1,781	1,888	2,363
前年同月比（%）	▲ 6.2	▲ 11.9	▲ 15.1	▲ 2.7	▲ 12.0	▲ 16.9	▲ 6.3	▲ 10.7

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****1月 = 114.73円/ドル**

\*前月差： 1.22円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

\*前年同月差： 3.52円高

## &lt;概況&gt;

1月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は114.73円で、前月と比べて1.22円の円高となり、5か月ぶりの円高となった。

## &lt;最近の動き&gt;

	28年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月
平均相場（円）	105.49	103.90	101.27	102.04	103.82	108.18	115.95	114.73
前月差（円）	▲ 3.66	▲ 1.59	▲ 2.63	0.77	1.78	4.36	7.77	▲ 1.22
前年同月差（円）	▲ 18.26	▲ 19.33	▲ 21.96	▲ 18.18	▲ 16.24	▲ 14.36	▲ 5.89	▲ 3.52

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****1月 = 16件**

\*前年同月比： 15.7%減

## &lt;概況&gt;

1月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は16件（前年同月比 15.7%減）、負債総額は1,687百万円（同 46.1%減）となり、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が16件と全体の100.0%を占め、230か月連続して50%以上となっている。

## &lt;最近の動き&gt;

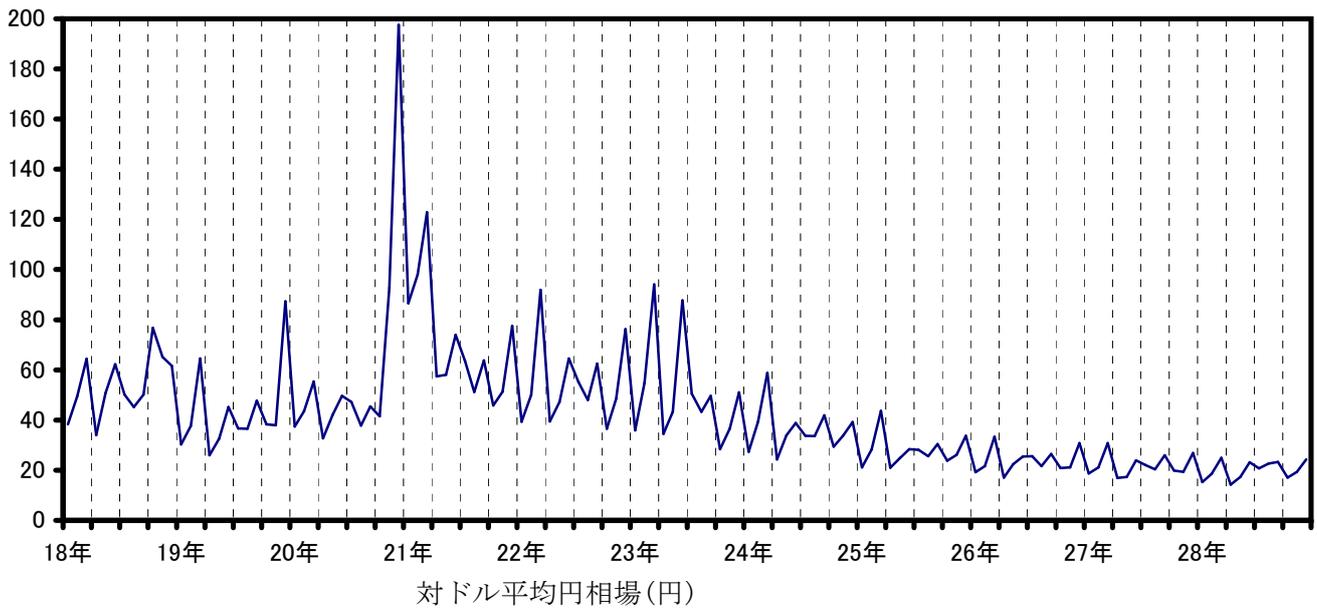
	28年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月
倒産件数（件）	31	36	19	22	13	19	35	16
前年同月比（%）	47.6	56.5	5.5	▲ 18.5	▲ 27.7	▲ 20.8	84.2	▲ 15.7
うち不況型倒産件数（件）	27	33	18	19	12	19	34	16
負債総額（百万円）	5,095	8,498	2,065	2,315	1,631	2,049	5,704	1,687
前年同月比（%）	▲ 40.7	113.2	8.7	▲ 30.7	▲ 54.5	▲ 61.8	60.7	▲ 46.1

&lt;資料&gt;（株）東京商工リサーチ静岡支社

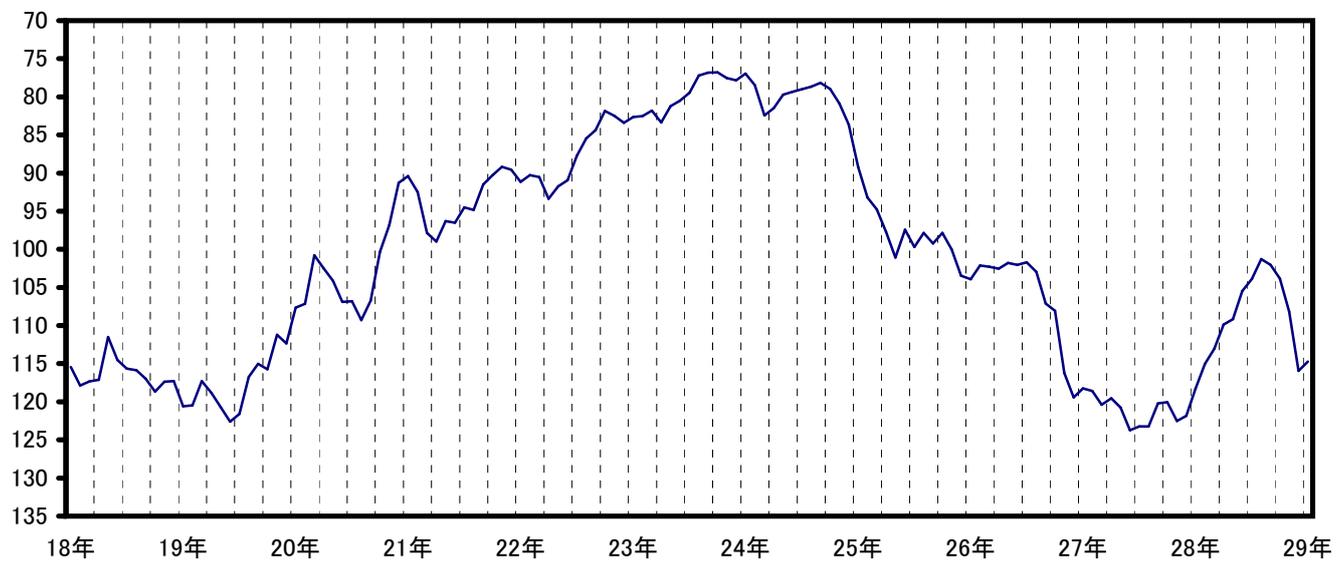
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

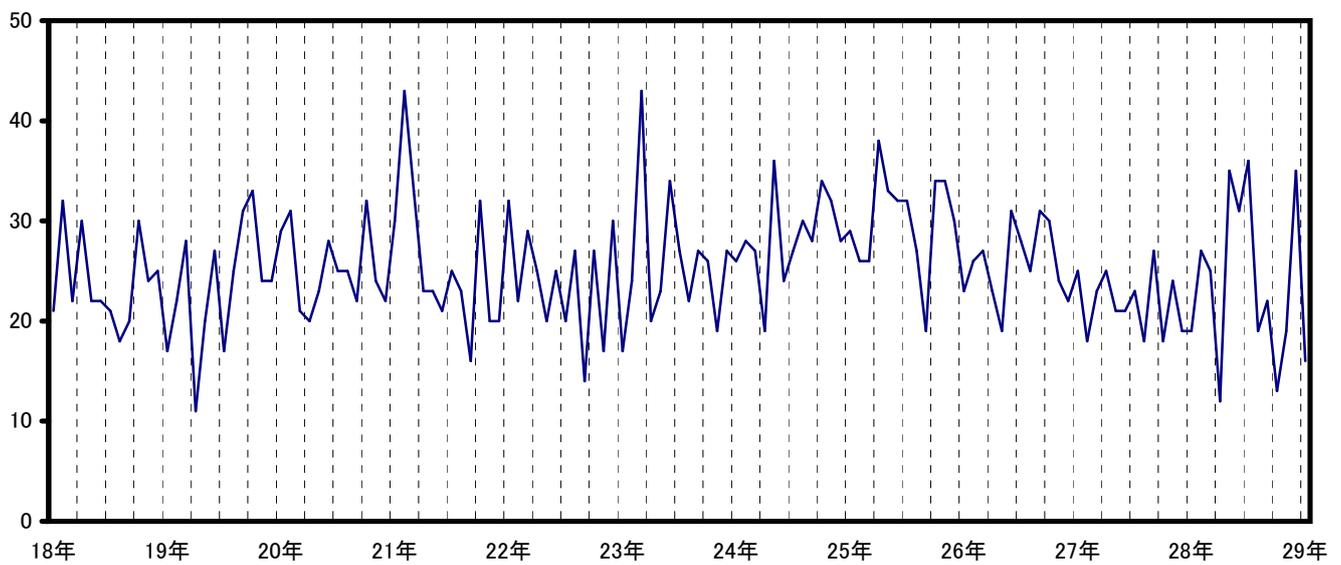


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



### Ⅲ 平成28年12月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>12月の国内二輪車生産台数は、59,302台（前年同月比 11.1%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、10,507台（同 30.1%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、1,602台（同 31.0%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、5,977台（同 7.1%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、41,216台（同 12.8%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは24,532台（同 3.4%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。輸出向けも、47,621台（同 1.5%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車 自動車部品	<p>12月の自動車国内生産台数は781,378台（前年同月比 4.2%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。また、輸出は422,836台（同 2.7%増）となり、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、トラックが4か月連続で前年実績を下回ったものの、乗用車が2か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>12月の冷蔵庫の国内出荷額は354億2,300万円（前年同月比 0.6%減）で2か月ぶりに前年実績を下回り、国内出荷台数は328千台（同 8.7%増）で2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>12月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは571千台（同 3.7%減）で、4か月ぶりに前年実績を下回った。業務用は60千台（同 4.2%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>11月の携帯電話と公衆用PHSを合わせた携帯電話の国内出荷台数は、1,762千台（同 7.3%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、冬春モデルの出荷が本格化したことにより、1,190千台（同 7.4%増）と3か月連続で前年を上回った。単月のスマートフォン比率は67.5%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、JEITA/CIAJ</p>
生産用機械	<p>12月の工作機械の受注総額は、1,118億7,900万円（前年同月比 4.4%増）と、17か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は659億300万円（同 2.0%増）で、19か月ぶりに前年実績を上回った。欧州向けが178億9,800万円（同 22.7%増）で2か月連続、アジア向けが269億2,500万円（同 2.0%増）で19か月ぶりに前年実績を上回った。内需は459億7,600万円（同 8.0%増）で、11か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業からは、円安株高と足元の環境に明るさはあるものの、設備投資にまで結びつく勢いは感じられず、先行き不透明感の中で新年を迎える状況にあったという声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>12月の県内楽器メーカーの販売金額は、50億4,000万円（前年同月比 9.5%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが24億7,100万円（同 12.1%減）で、国内向けが25億6,900万円（同 6.8%減）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,816台（同 1.1%増）であった。機種別では、アップライトピアノが1,958台（同 8.5%増）、グランドピアノが858台（同 12.4%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,590台（同 16.7%減）、国内向けが1,482台（同 13.1%増）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>12月の紙・板紙の国内出荷高は、2,159千トﾝ（前年同月比 0.9%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。内訳は、紙は1,193千トﾝ（同 0.1%減）で、前月の増加から減少に転じ、前年実績を下回った。板紙は967千トﾝ（同 2.3%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、654千トﾝ（同 1.3%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、171千トﾝ（同 2.1%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>12月の県内生産量は、食缶類が国内向け815千箱（前年同月比 7.2%減）と、10か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は575千箱（同 12.4%減）と2か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は401千箱（同 16.6%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は240千箱（同 8.0%増）と、10か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが5,985千箱（同 7.4%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>12月の広幅織物の県内生産は、1,694千㎡（前年同月比 3.1%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,649千㎡（同 3.4%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、45千㎡（同 7.5%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、33千㎡（同 14.4%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>12月の全国百貨店での家具販売額は、66億6,826万円（前年同月比 3.1%減）と10か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、650億2,293万円（同 4.2%減）と3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>12月の県内百貨店の売上高は、前年に比べて土曜日が一日多く、また気温が低いにも関わらず、主力の冬物衣料の動きが鈍く、全体として対前年比 0.7% 減となった。</p> <p>商品別では、化粧品が同 22.4%増、雑貨が同 1.6%増、身の回り品が同 5.9%増、家庭用品が同 0.8%増とそれぞれ前年を上回ったが、主力の衣料品のマイナスをカバーするまでには至らなかった。</p> <p>中部・東部地域の食品スーパーへの聞き取りでは、昨秋の悪天候が影響し、引き続き野菜の相場が高かった。西部地域の専門店では、クリスマスギフトの需要もあり、ジュエリーや時計等身の回り品がよく売れた。</p> <p>12月の県内のある商店街では、スマートフォン利用者向けの電子クーポンを用いた地域活性化の実証実験が、購買促進を目的に開始された。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>平成28年12月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約28万人で、前年同月比7.4%増となった。今年も、クリスマスが3連休となったことや、例年に比べ気温が高く日照時間が多かったことなどにより、入込客が増加した。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約74万台となっており、前年同月に比べて5.6%増となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

## ＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

### <二輪車>

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
完成車生産台数(台)	20,913	16,802	16,487	16,815	13,421	13,818	20,095	24,249	19,835
前年同月比(%)	35.0	22.5	9.7	▲ 10.4	▲ 11.1	▲ 26.4	2.5	40.6	6.7
KD輸出額(百万円)	646	535	760	677	762	672	577	719	716
前年同月比(%)	▲ 36.7	▲ 42.9	▲ 7.6	▲ 25.9	7.7	▲ 15.4	▲ 10.2	▲ 0.8	▲ 22.4

### <楽 器>

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生産総額(百万円)	3,837	3,376	4,157	3,817	3,309	3,851	3,696	3,635	3,294
前年同月比(%)	▲ 2.8	▲ 9.3	▲ 2.5	▲ 10.3	1.7	4.2	▲ 10.7	▲ 0.5	▲ 10.2

### <缶詰>

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
食缶生産高(千ケース)	1,023	1,019	1,112	1,031	983	1,069	1,026	970	815
前年同月比(%)	11.0	15.0	5.9	2.5	14.9	18.0	5.1	0.4	▲ 7.2
うち水産缶詰(%)	0.6	3.7	0.4	▲ 0.7	10.7	9.7	0.4	▲ 3.5	▲ 12.4
農畜産缶詰(%)	45.5	55.5	23.1	12.1	30.6	51.7	20.8	13.3	8.0
飲料缶生産高(千ケース)	7,924	8,363	7,714	8,479	7,428	7,146	6,562	6,641	5,985
前年同月比(%)	0.4	6.9	▲ 12.0	▲ 1.8	3.6	0.2	3.9	▲ 1.9	▲ 7.4

### <織 維>

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
広幅織物(千㎡)	1,511	1,203	1,196	1,133	1,135	1,458	1,522	1,693	1,694
前年同月比(%)	▲ 0.5	▲ 1.5	▲ 2.3	▲ 1.4	3.4	8.2	0.5	▲ 5.8	▲ 3.1
小幅織物(千㎡)	37	33	30	28	26	30	31	32	33
前年同月比(%)	▲ 5.1	▲ 16.4	▲ 20.1	▲ 22.3	▲ 20.8	▲ 24.7	▲ 21.4	▲ 21.3	▲ 14.4

### <観 光>

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
観光施設(10施設)入込 (千人)	510	654	330	363	552	369	431	349	280
前年同月比(%)	15.3	▲ 3.0	▲ 3.9	19.4	1.2	▲ 22.8	▲ 6.2	▲ 11.4	7.4
有料道路(5路線)通行量 (千台)	684	732	649	755	862	677	711	701	741
前年同月比(%)	5.2	2.1	4.1	6.5	1.8	▲ 2.2	2.7	2.1	5.6

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標  
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・百貨店販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・専門量販店等販売額		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・自動車新規登録台数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・新設住宅着工戸数			
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

## 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="http://www.ejcs.co.jp/region/index.html">http://www.ejcs.co.jp/region/index.html</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html">http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm">http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm</a>
円相場		

## 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="http://www.meti.go.jp/statistics/index.html">http://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	<a href="http://www.mof.go.jp/siryou.htm">http://www.mof.go.jp/siryou.htm</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
完全失業率	厚生労働省	<a href="http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html">http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html</a>
有効求人倍率		

**静岡県月例経済報告**  
平成29年2月号 通巻490号

発行 静岡県経済産業部  
平成29年2月

編集 経済産業部管理局政策監  
〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6  
TEL 054-221-2635  
FAX 054-221-3217  
E-mail [keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)  
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>